

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和4年度 第1回佐渡市図書館協議会
開催日時	令和4年5月12日(木) 13:30~15:10
場所	佐渡市立中央図書館 2階講座室
議題	(1)報告 ①令和3年度 実績報告 (2)議事 ①令和4年度 図書館協議会の重点審議 令和4年度 図書館事業計画 ②さわた図書館基本計画 ③その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	佐渡市図書館協議会委員 会 長 木村 和夫 副会長 関根 良子 委 員 海老名 忠 小松 美知乃 杉坂 芳文 遠藤 邦子 坂口 可奈子 渡邊 日出子 黒川 健 事務局(教育委員会 社会教育課 中央図書館) 教育長 新発田 靖 課 長 市橋 秀紀 館 長 村岡 直 係 長 伊藤 優美 主 事 本間 春菜
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	1名
備考	—

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
新発田教育長	1. 開会 教育長あいさつ
事務局	2. 議題 (1) 報告 ①令和3年度 実績報告 資料内容説明
黒川委員	14ページ、パワーアップ事業について、小学校で2セット借りましたが、「シリーズ物が多かった」など、子どもたちは喜んでいました。図書館事務の方からも、なかなか学校で図書が買えない中で、27冊2セットの利用だと50冊以上用意していただけるので非常にありがたかったという声がありました。学校のものとの区別はどうしようかということで、うちの学校の場合は図書館事務が来た曜日だけ貸し出す形で、混ざらないようにしていましたが、学級によっては学級文庫に入れて貸し出すなど工夫してやっていたようです。そのへんは煩雑かなというのありました。 あと、リクエスト便もすごくありがたくて、姿を変える食べ物など、いろんな単元に合わせたテーマで資料を用意していただいて、本当にありがたかったので今後もよろしく願いいたします。
伊藤係長	定期便・リクエスト便もご活用いただいたようで、ありがとうございます。定期便につきましては現在募集を行っているところです。リクエスト便につきましても今年度から、仕組みが少し分かりにくいという声があったので、通常の図書の予約と統合するようなかたちで、仕組みの見直しをさせていただきました。3月にも本のリストを各学校に配布をさせていただいたところなので、そちらも是非授業に活用していただければと思います。
木村会長	佐渡市の小学校の教育研究会、今年の会議は終わりましたか。
黒川委員	佐渡市小学校研究会は終わりました。昨年度、杉坂先生にワードジャングル読書法、参加型のワークショップをやっていただきまして、今年度も10月にまたお願いしようと思っています。関係の職員にも図書館利用について深めていきたいと思っています。

木村会長	<p>機会がありましたら、また協議会委員の方が学校から集まるので、そちらのほうにも成果とかお知らせしていただけると、せっかくの授業が充実するかと思います。機会がありましたら、夏休み研修とか昔ありましたが、紹介していただけるとありがたいと思います。</p>
関根副会長	<p>課題と対策でコロナのところに、「これまで十分な取組がされていなかった、読書にハンディーキャップがある方へのサービスについても取り組む必要がある」とあり、大変良いことだと思いますが、具体的にどういうことがあるのか、聞かせていただきたいです。そして、もしこれについても取り組みたいので、今後また意見なりということなのか、教えてください。</p>
伊藤係長	<p>議事の、令和4年度の図書館事業計画に少し重なる部分ですが、先行してお話させてください。まず、ハンディーキャップのある人ということで、私たちが今まで取り組んできたのが、大活字図書といって、活字がすごく大きくなっている本を配置するなどといったことを行ってきました。こちらもなかなか10年くらい新しいものが入ってこなかったということもあり、今年度予算計上させていただきました。全体で40万円くらい大活字図書の購入に充てたいと考えています。今年度については、両津図書館と中央図書館に大活字図書を配架して、佐渡市の図書館ならばどこで借りて返しても大丈夫なので、取り寄せもしながら利用者に提供していきたいと考えています。</p> <p>もう一つが、「デージー図書」というものを皆様聞いたことはありますでしょうか。具体的には、CDの形をしていて、本の内容を音で聞くことができるものです。そちらを再生する機械と、CDをある程度買って、それを利用者の方に機械とCDも一緒に貸し出しをするような取組を考えています。その機械ですが、世界的な半導体の供給不足の影響もありまして、すぐに購入することができませんが、県の視覚障害者情報センターから現在貸し出しを受けています。普通のCDだとボタンを押せば再生するだけということだと思いますが、音声ガイダンスが付いているので、例えば「トラックの1番目です」とか、「電源が入りました」とか、いろいろなことを機械が伝えます。CDの回転速度を早くすることもできますし、音の高さ、低さも変えられます。そして、本をイメージしていただきたいのですが、頭出し、ここから始めたいというのも簡単に操作できるところが、普通のCDプレーヤーと大きく違うところとなってきます。デージー図書の再生機器ですが、新穂図書室は周りに障害者施設があつたり、特別支援学校があつたり、そういった地域でもありますので、地域性を考慮して、新穂図書室に置いて利用者に提供したい</p>

伊藤係長	<p>と考えています。</p> <p>昨年も皆様をお願いをしたところですが、図書館ビジョンの実施計画の評価についても、また皆様に評価をお願いしたいと思います。その時の元になるのがこちらの資料となりますので、もし、資料をお読みいただいてご不明な点あれば、いつでもお問合せいただければと思います。よろしくお願いたします。</p> <p>(2) 議事</p> <p>①令和4年度 図書館協議会の重点審議 令和4年度 図書館事業計画</p>
小松委員	<p>3ページの移動図書館の運行ですが、どちらかというと周辺部ですよね、中央部でなくて。高千方面ですが、停まる場所を教えてくださいいただけますか。</p>
本間主事	<p>高千方面ですと、ステーションが基本的に保育園や施設となっております。姫津保育園、稲鯨保育園、デイサービスセンター高千の里、たかち保育園、高千連絡所、高千中学校に停留します。一般の方への貸出し利用となると高千連絡所のみとなっております。</p>
木村会長	<p>あと内海府、前浜、南佐渡の方面についても何箇所か行っているという解釈でよろしいでしょうか。</p>
伊藤係長	<p>はい。</p>
小松委員	<p>今の場所を聞きますと、我々のような年代の人が「読みたいな」と思っても、なかなか行けないです。今までは有線放送でお知らせがあったような気がします。習慣がないと言ったらそれまでですが、そういう人たちをもっと呼び込むために何かあるといいかなと思います。</p>
木村会長	<p>有線放送というのは佐渡市のほうで出していますよね。最近には主にコロナについての内容が多いですが、そういうことだけでなく、ちょっとした時間に、例えば「図書館では何日に高千方面にハローぶっく号が行く予定になっています」という、そういう意味合いですか。</p>
小松委員	<p>そうです。近い人たちは歩いて行けます。</p>

木村会長	<p>実際にそれができるかどうかはやってみないとわからない部分がありますが、佐渡市としても、有線放送を使うと大事な連絡ができなくなるから、そういうことは受け付けないというかたちになるか、そういう意見も出るかもしれませんし。</p>
小松委員	<p>恐らく、前は放送が入っても利用者がいないからやめたのかなという解釈でも、私はよいと思います。読みたい人は、何かのついでに時間調整などで相川図書室に行くのでしょうが、階段も急で高齢者にはちょっと大変でしょう。</p>
木村会長	<p>また課長や館長と相談して、第2回の時にでも、「市と話し合ったらこんな状況でした」と報告していただけたらと思います。</p>
伊藤係長	<p>ありがとうございます。有線放送については、主管する部などと相談して回答させていただきたいと思いますので、よろしく願います。</p>
遠藤委員	<p>4 ページの一番上の項目ですが、自主講座の援助、こちらは具体的に策があるのでしょうか。</p>
伊藤係長	<p>中央図書館で場所を提供しているところになります。</p>
遠藤委員	<p>場所の提供ということでしょうか、分かりました。</p>
木村会長	<p>自主講座はあくまでもサークルのようなかたちで、そちらで講師等選任するのですよね。必要な資料はその人たちが会費からコピー代を出すなどで対応をしているそうです。図書館側は会場提供が主な要素ということでしょうか。</p> <p>あとは、中央図書館の駐車場が狭いということで、私は常々、空き家のところを活用させていただけるとだいぶ違うんだけどなと思っています。</p>
伊藤係長	<p>駐車場を広くしてほしいというご意見ですよね。貴重なご意見として承りたいと思います、ありがとうございます。</p>
木村会長	<p>②さわた図書館基本計画</p> <p>資料の最初のほうは2階、次が3階で議会になっています。3階</p>

伊藤係長	<p>が目いっぱい使えるようなイメージですね。</p> <p>ただそれも、すでにサービスセンターの中に入っている他の関係部署のこともございまして、その調整も道半ばという状況です。なので、この図面のこの場所がこのまま使える意味ではなくて、これから今後の調整となってきます。</p>
木村会長	<p>ワークショップなどでこれから皆さん意見を出すのですが、図書館協議会についても基本計画が固まる前にいろんな提案としなくてはいけない時に、この図面が生きてくると思います。</p>
伊藤係長	<p>皆さんに、こんな感じというイメージを持っていただきたくて、案として出させていただきました。まだ決定というものではなく、たたき台ということをご承知おきいただきたいと思います。</p>
市橋課長	<p>補足をお願いいたします。中央会館の海側に学童の施設があり、土日開放して親子で使えるようになっていきます。佐和田の前の役場だった地域を親子で集える場所にしていけたらよいのではないかと、市長の想いでして、土日、親子で買い物に来た時に、今の学童のところで休憩するとか、本を借りて一緒に動いていくということで、あそこを一体に使うことはできないかということで動いています。</p> <p>そして、昨年度については、図書館のボランティアの方々の意見を聞いておりましたが、今年度については、市民の皆様にもワークショップ等をやりながら意見を聞いていきたいです。そして、今回コンサルのほうで基本構想をまとめますが、市民の皆様の意見をまとめて、来年度基本計画、今度は実施計画ということで、設計の計画に来年入っていきたくて考えております。そして、資料の図面に色を塗っている場所がありますが、これは予定箇所でありまして、色を塗ってないところについてもどう使っていくかも含めて、全体を考えながら図書館を考えていきたいと今動いていますので、親子で集える、そして子どもが楽しめるような区画にしていきたいです。その中でさわた図書館がどのような役割を果たしていくかというところを、皆様にも考えていただければありがたいと思いますのでよろしくをお願いいたします。</p>
木村会長	<p>そういったコンセプトの大きな、ちょっと見ると偏っているような感じがしますが、そういう市のお考えのもとにこのコンセプトも、いわゆる素案ができていくんだという背景があるということによりよいでしょうか。</p>

市橋課長	<p>はい。子どもと子どもに関わる人というのは、親、おじいちゃん、おばあちゃん、子ども、親戚の人と来たりということで、こういう書き方をしていると思っております。子どもだけではないということだけ、よろしく願いいたします。</p>
海老名委員	<p>そもそも論になりますが、子どもに携わる人のための図書館、この大きな柱をコンセプトにしたのは理解しましたが、他の図書館もコンセプトを持っているのならば教えてください。今回、さわた図書館を新しくするにあたって、この図書館は子どもに関する図書を充実するための図書館に位置付けるのだと思いますが、他の図書館はどういうコンセプトがあつてなど考えているのでしょうか。</p>
市橋課長	<p>各図書館のコンセプトは今ないのかなと感じています。私は各地区に図書館、図書室があつて、地域の人たちが集つてそこで学習してほしいと社会教育課長としては思っています。佐渡市としては、予算がいつか厳しくなる時にまた議論をするときが来るかもしれない、いずれはと思っておりますが、そうなる前に、各図書館の個性をもつと持って、必要性を出していきたいということを職員にも話していますし、各地区で頑張っている会計年度任用職員の研修の時にも各地区の図書室、図書館の個性を出していこうということを言っています。今一番の第一歩が、先程説明した音声図書デイジーです。それはなぜかと言うと、新穂地区にろう学校や施設があるので、新穂の図書室については障がい者や高齢者が行きやすい図書室にしたいという、一つの個性、コンセプトを持って動いていきたいと思っています。そして、各図書館(室)で特化して収集する分野があつて、そこに行くとその分野について全部が分かるようにならないかということで、コンセプトをしっかり持てるような図書館(室)を目指そうということで動き始めておりますし、元々あつたなら知らない部分もあるものですから、ただ、そういう個性を強く出していけるような図書館、図書室を目指したいと私たちは今考えています。以上です。</p>
木村会長	<p>今のところは実際ないんですね。</p>
渡邊委員	<p>当時は、各地域の昔ながらの各市町村の図書館ということで、それぞれコンセプトがあつて建てたと思います。そして合併しまして、この中央図書館は金井町のための利用しやすい図書館、誰でも入れる図書館にしたいというコンセプトはありました。それは当たり前すぎて、今更通用する言葉ではないので、やはりこれから佐渡市の</p>

<p>杉坂委員</p>	<p>図書館全体を考えた場合、課長が言われたこの島の特色のある図書館というものが不可欠だと思います。だから、中央図書館も両津図書館もそれぞれ子どものスペースありますが、それをもう少し考えていきたいですし、さわた図書館は、子どもと関わるための図書館にしたいという、そのコンセプトはすごく良いと思います。ですから、大体の図書館はみんなが利用しやすい普通の図書館というかたちなんですけど、これから作る場所は、やはりコンセプトをきちんとして特色ある図書館にしていきたいというのは思います。</p> <p>私自身も、個性ある図書館、図書室のほうが良いと思っておりまして、このあと説明に入る際に、もし必要な際には、佐渡市全体として図書館、図書室のあり方はこういうふうにして答えている、そして、さわた図書館については子どもを中心にしたものを充実させていきたいんだという説明のほうが良いかなと思っております。</p> <p>あと、ピンクの枠の中で、安心して利用できる設備の中に、下から3行、学習室、グループ学習室、研修室、この3つについては黄色に入るんじゃないかと思っております。</p>
<p>木村会長</p>	<p>コンセプトを見直すとすれば、上に上げたほうがよいと。私はどちらかという、自分が退職する最後の学校の時に統合学校が、基本設計など少しぐらいしか見ることができませんでしたが、それに携わったもので、非常にこの点が気になるんですね。先程ワークショップという話が出ましたが、そこと図書館協議会の兼ね合いなどが気になります。コンセプトがあるところだけでなく、2ページ、3ページともご意見いただければありがたいと思います。</p>
<p>遠藤委員</p>	<p>黄色い枠の中に、先程のご意見と繋がる部分がありますが、読み聞かせ大型絵本、今は各館で所蔵していますよね。それを例えばさわた図書館に集約するという方向性でしょうか。</p>
<p>伊藤係長</p>	<p>たたき台ですが、ある程度さわた図書館に行けば大型の絵本が揃っている、たくさんの中から選べるというものをイメージしています。それでもまた皆様から意見聞きながら、そうではなくてというところもあればご意見いただければと思います。</p>
<p>遠藤委員</p>	<p>図書館の個性という点でいくと、いろんな所にあるよりは、「ここは子どもの図書」といって集めたほうが利用しやすいかなと思います。ただ他の館の資料をその図書館に動かさないといけないというのは難しいところではありますが、やるなら思い切ってやらないといけないと思います。自分がいろいろ調べ物をして、郷土資料は各</p>

市橋課長	<p>館にあります、調べ物の時に中を見たいんです。検索しても題名くらいしか分からないので、実際に見ると、中央図書館にはあったけどこれは真野図書館となると、郷土資料なんかも金山は相川図書室、そういう少し個性を出すということを佐渡市の図書館として考えていけると良いのかなと思います。なので、絵本の集約化も私は賛成です。</p> <p>ご意見ありがとうございました。いずれ、郷土史のようなものも中央図書館の整備の中で、私もそれを考える必要があるかなと思っております。それと、読み聞かせの大型絵本をさわた図書館ができる時に集中的に新たに買って良いと思っております。今本を買う予算というのは、皆さんが思うほど取れていませんが、それを各地区に案分していくというかたちで振っていますが、この振り方ももっと個性を強く振ってもよいのかなと思います。もし相川図書室で、一つの例ですが、このシリーズの本を全部集めるんだよということであれば、そこに予算の半分を充当して本を揃えるとか、全部の館に均等に同じような本を買うということでもないのかなと考えています。そういったところで、それぞれの図書館(室)にメリハリをつけるやり方もこのあと必要かなと課長として思っております。集めるかたちが良いのか、そこに予算を充当して揃えるかは皆さんと議論させていただけるとありがたいと思います。</p>
海老名委員	<p>子どもに特化して図書を集めるというのは良いと思いますが、特に小さいお子さんを持った親御さんは、南部から佐和田まで行く大変になるので、そこはある程度弾力性を持たせてお願いしたいと思います。予約はできるけど、そればかりでなくて、利便性も必要だと思います。</p>
木村会長	<p>ある程度利用の時には、借りやすさや検索でどこにあるか分かるシステムを同時に構築しないと、特色を持たせることはなかなか、今おっしゃられたような不便さはあるということですね。</p>
渡邊委員	<p>今、遠藤委員が話されたことはすごく良いと思います。この図面を見ると、すごく細長いイメージがあり、やはり現場を見たいなと思います。図書館協議会で、議会がやってない時に1回見せていただきたいです。どういう使い方ができるか、やはり現場を見ないとイメージできないかなと思います。図書館は細長いよりも、全体に大きいほうがいろいろ使いやすい部分があるものですから。面積は合計すると中央図書館とほぼ同じくらいの大きさなんですよね。それくらいスペースはありますが、何しろ細長くて、全部取っ払って</p>

<p>木村会長</p>	<p>やれるのかどうか、どんどん進めていく前に見てみたいなと思いました。</p> <p>平成 24、25 年、その年の頃からこの協議会の委員をさせてもらっていますが、あの時の佐渡市の教育委員会の提案に対して、実際それぞれの図書館がどういう状況なのか、マイクロバスを図書館で貸しきってくださって、8割くらい周りました。そうすると、そこまでの距離や、ここにこう展示したら面白そうだなとか、現場行くといろんなことが分かるのですよね。今渡邊委員がおっしゃられた長さというのも、図面を見たのと行って見たのと違うし、分散させるのがもったいないなというところも出るかもしれません。それによって、関係部局との調整も変わりますよね。</p>
<p>黒川委員</p>	<p>今いろんな図書館を見てというお話がありましたが、新潟日報でもいろんな図書館の特集やられています。あんな感じで、実際他のところでどんな図書館と博物館が繋がるとか、メディアセンターとかいろんなかたちがあると思いますが、そういう情報が全く分からないので、そういう情報が、今ある既存の佐渡市立図書館もそうですが、先進的な場所の写真や情報が分かると良いのかなという気はします。ただ、ここにある、あたたかい優しいコンセプトはすごく良いと思いますが、学校現場だと一人1台端末でやっているの、図書館がメディアセンター的な感じで、博物館と繋がるなどいろんなところと繋がれるようなものだと良いかなと思います。図書館まで行けないお年寄りとかがオンラインで繋がれるような、情報を取れるようなものもイメージしたりすると面白いかなと思います、ずっと先かもしれませんが。</p>
<p>関根副会長</p>	<p>私も黒川委員のご意見に賛同するところがありますが、子どもに優しいということは、お年寄りや障がい者の方にとっても結果的には優しい施設になるのではないかと思います。それぞれの図書館(室)が個性を出すというのは、それはそれでよいですが、基本的な、例えば新穂図書室に音声図書というのも、まずは新穂図書室でやってみて、それが良かったら全地区の図書館(室)で利用できるというようにしていただけたらと思いました。小さいお子さんや障がいを持っている方は遠くには行けないと思います。地域の中で使いやすいものがあれば利用したいと思うので、その基本的な借りやすさや利用しやすさは、基本として各図書室にあって、尚かつ、それぞれの図書館で個性を出す、ここは子ども関連が充実している、こちらはお年寄り関係、こちらは農業関係みたいな感じで個性を生かしていただけたら良いのかなと思います。以上です。</p>

村岡館長	<p>渡邊委員から、図面では分かりにくい部分があるというお話をいただいた中で、できるだけ早くということで、6月に入りますと議会が始まるもので、委員の皆様忙しく皆様というのは難しいと思いますが、5月末くらいであれば、議会と調整する中で現地を見ていただき、調整できるかと思います。皆様お忙しいと思うので、皆様というのは難しいと思いますが、やはり現場を見ると見ないでは違うかなと思います。</p>
木村会長	<p>議会の関係もあるので、この図面見ますと、議会のスペースは結構大きいんですよ、使うかどうかは別にして。それをみるためには、議会が6月にあるから、その前が、もし皆さんが行けるというならば、ある程度日を決めておいたほうが、という意味ですね。</p>
渡邊委員	<p>6回という回数がありますが、いつ頃というのは決まっていますか。</p>
伊藤係長	<p>お忙しいところ皆様ご出席いただいて本当にありがとうございます。日程について、今のところこちらの予定だと、例えばワークショップをやって、その結果を皆さんにフィードバックしながら意見をいただいて反映してというようなやりとりを考えていますが、まだ業者も決まっていない段階なので、今事務局が持っているイメージではあるけれども、この通りにはいかないと。</p>
木村会長	<p>ワークショップをする前に、我々自身も、渡邊委員が言われたように、佐和田行政サービスセンターを見させていただくと、どうかたちでワークショップを行うか分かりませんが、ワークショップであるこのことを言っているんだなとイメージできるんですよ。</p>
市橋課長	<p>同時に学童の場所も見ていただきたいです。図書館のことだけでなく、子どもが集まっている学童の場所も見させていただいた中でイメージを膨らましていただきたいのが一つと、3階に議場があります。他の部屋とは全く作りが違いますので、「議場にも書架を置くのか」「イベントに使うのか」ということも含めて現場を見ていただいて建築技師を同行させてどの壁が取り払えるのかという点も含めて見ていただけるとありがたいと思います。</p>
渡邊委員	<p>すごく細かく仕切ってあって、全くイメージがつかないくらいなんです。</p>

市橋課長	<p>ですので、全体を見てもらった中で今の議会の中も見てもらいた いかなと思いますので、時間を合わせていただければ我々調整いた します</p> <p>議場見学日程の調整</p>
木村会長	<p>ワークショップとありますが、どういうメンバーを想定してこの 方々を選ばれるのですか。あと、高校生アンケートとありますが、 以前アンケートを実施した時、ものすごく苦劳しましたよね。アン ケートは簡単にできないですよ。どういう人を対象にやるか、ワ ークショップの対象者、高校生アンケートの対象者はどう考えてい るのでしょうか。</p>
伊藤係長	<p>今のところですが、ワークショップは広く市民に周知するような 形式で進めたいと考えています。ただ、それについても、例えば委 員を公募するような進め方もあるかと思いますが、その進め方につ いても今ご意見があればお伺いしたいと思いますがいかがでしょ うか。</p>
木村会長	<p>前回昨年度の事を聞きましたら、意見交換会ということで話合 いがされているようですよね。そのメンバーがどうかたちになっ ているか、それを委員が知らないということがおかしい流れになっ ている気がします。令和3年度の意見交換をしたメンバーがどんな メンバーか、そして、今後考えているワークショップのメンバーが どんな人を対象にするのか、高校生アンケートの対象者がどうい うメンバーなのか、ワークショップはこんなかたちで人を集めたらよ いとかそもそもワークショップ自体がいるかという点について次回 の協議会でお知らせください。</p>
伊藤係長	<p>事務局としては、たたき台として市民の方から意見を聞くという ワークショップやアンケートという手法を考えていますが、より具 体的な案ということで提示させていただく中で、また他の方法やワ ークショップの有無についてもご議論いただければと思います。現 時点の資料については、あくまでも今私たちが考えている意見を広 くいただきたい部分の手法としてのワークショップ・アンケートと いった内容になっております。なので、次回それを更に進めたいと 思います。</p>

遠藤委員	<p>3. その他</p> <p>昨年度、掲示物に関して議題が挙がりましたが、図書館に市民の皆さんから借りたいものがあったらお持ちくださいというポスターを作っていただきました。ありがとうございました。あれがすごく市民とすると開かれた図書館という感じがあって、非常によかったです。そういう掲示を図書館がしてくれたというのが非常によいと思いました。</p>
伊藤係長	<p>ありがとうございます。</p>
関根副会長	<p>4. 閉会</p> <p>あいさつ</p>